

## 令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

|                        |  |  |              |                         |                                      |      |         |
|------------------------|--|--|--------------|-------------------------|--------------------------------------|------|---------|
| 事業番号<br>・事業名           | 29   | 世界自然遺産保全・適正利用推進事業  |              | 新沖縄21世紀ビジョン<br>基本計画該当箇所 | 第4章-1-(2)-ア-①                        |      |         |
| 担当部課名                  | 環境部自然保護課   | 事業実施<br>(予定)年度   | H25 ~ R13 年度 | 沖縄振興基本方針<br>該当箇所        | 世界自然遺産や<br>自然公園の適正管理<br><br>Ⅲ-10-(1) |      |         |
| 事業内容                   | <p>■1 保全と適正利用の両立(沖縄島北部)<br/>世界自然遺産の登録地における観光の過剰利用を抑制するため、沖縄島北部のオーバーツーリズム対策や、世界自然遺産ブランドを活かした地域活性化の仕組みづくりを行う。</p> <p>■2 ノネコ等対策<br/>やんばる地域(国頭村、大宜味村及び東村)においては、林野内に遺棄され、野生化したイヌ及びネコ(ノイヌ・ノネコ)によるヤンバルクイナ等の希少野生動物の捕食被害が課題となっている。やんばる地域の希少種保護を図るため、以下に取り組む。<br/>(1)-a ノイヌ対策 ノイヌの捕獲<br/>(1)-b ノネコ対策 ノネコの捕獲、捕獲個体の譲渡<br/>(2)犬猫遺棄防止普及啓発</p> <p>■3 希少野生動物交通事故・密猟防止対策(沖縄島北部)<br/>沖縄島北部に生息する希少野生動物の密猟防止対策として、森林内パトロールやドローンの試行、道路適正利用検討会の開催、TV・ラジオ等による普及啓発などを実施する。また、野生動物交通事故対策として、道路沿いの視距の改善を目的に、効果的な除草手法の検討等を実施する。</p> <p>■4 保全と適正利用の両立(西表島)<br/>(1)IUCNから要請事項である西表島の適切な観光管理を行うため、「西表島観光管理計画」の策定や来訪者数の平準化に向けた取組の検討など実施する。<br/>(2)世界自然遺産登録地沖縄島北部及び西表島において、地域別行動計画の運用による遺産地域の適切な保全管理を実施するため、地域別行動計画の検証及び見直しを実施する。</p> <p>■5 イリオモテヤマネコの交通事故防止体制構築の検討<br/>・イリオモテヤマネコの交通事故の抑制を図るため、普及啓発、実態調査等に取り組む。<br/>・IUCN勧告に対応して取組の検証・強化を図る。</p> <p>■6 普及啓発の推進<br/>登録地の遺産価値とその保全の重要性について、県民及び観光客への遺産の恒久保全に係る理解醸成や、児童生徒への環境教育に取り組む。<br/>(1)世界自然遺産登録地における図画コンクール及び表彰式の開催<br/>(2)上記図画コンクール入賞作品の公共交通機関への掲出<br/>(3)世界自然遺産次世代継承を目的とした環境教育の実施<br/>(4)登録後における恒久保全のための普及啓発(IUCN勧告への対応とするHPやパンフレットによる情報発信等)</p> |  |              |                         |                                      |      |         |
| 効果発現年度                 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)   |  |              |                         |                                      |      |         |
| 実施方法                   | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )  |  |              |                         |                                      |      |         |
| 予算額・<br>執行額<br>【単位:千円】 |  | R2年度   | R2年度(繰越)     | R3年度                    | R3年度(繰越)                             | R4年度 |         |
|                        | 予算<br>の<br>状<br>況  | (a)当初予算額   | 227,814      | —                       | 237,814                              | —    | 372,280 |
|                        |  | (b)予算現額  | 227,814      | —                       | 260,229                              | —    | 372,280 |
|                        |  | (c)増減額(b-a)  | 0            | —                       | 22,415                               | —    | 0       |
|                        |  | (d)前年度繰越額  | —            | —                       | —                                    | —    | —       |
|                        |  | A. 計(b+d)  | 227,814      | —                       | 260,229                              | —    | 372,280 |
|                        | B. 執行済額  |  | 224,017      | —                       | 258,845                              | —    | 371,620 |
|                        | うち交付金充当額   |  | 179,214      | —                       | 207,076                              | —    | 297,296 |
|                        | C. 次年度繰越額  |  |              | —                       | 0                                    | —    | 0       |
|                        | 執行率(%) (B/A)   |  | 98.3%        | —                       | 99.5%                                | —    | 99.8%   |
| 予算の状況の説明               |  | <p>・世界自然遺産に登録された沖縄島北部及び西表島について、ユネスコの諮問機関であるIUCNの勧告への対応や定期審査等も見据えながら、自然環境や生物多様性の保全と適正な観光利用の推進を図るための経費として、委託料及び事務的経費(旅費、需用費、使用料及び賃借料)を計上した。<br/>・執行率は99.8%であり、概ね計画的に執行できた。</p> |              |                         |                                      |      |         |

|                        | R4活動目標(指標)  | 進捗状況 |  |   |  |   |
|------------------------|---|------|--|---|--|---|
|                        |   | R1年度 | R2年度   | R3年度  | R4年度   |   |
| 活動目標<br>(指標)<br>及び進捗状況 | 1 観光客の計画的誘導及び地域活性化の具体的手法の検討・構築(北部3村)  | 目標   | 持続的観光マスタープランの策定(沖縄島北部、西表島)   | 周辺地域における計画誘導に向けた地元関係団体の連携(2地域)<br>・世界自然遺産地域振興モデル事業の立ち上げに向けた地元関係団体との連携(北部3村)     | 周辺地域における計画誘導に向けた地元関係団体の連携(2地域)<br>・世界自然遺産地域振興モデル事業の実施(北部3村)      | 観光客の計画的誘導及び地域活性化の具体的手法の検討・構築(北部3村)                            |
|                        |   | 実績   | 持続的観光マスタープランの策定(沖縄島北部、西表島)   | 周辺地域における計画誘導に向けた地元関係団体の連携(2地域)<br>・世界自然遺産地域振興モデル事業の立ち上げに向けた地元関係団体との連携を行った(北部3村) | 周辺地域における計画誘導に向けた地元関係団体の連携(2地域)<br>・世界自然遺産地域振興モデル事業を実施した(北部3村)    | 周辺地域における計画誘導に向けた地元関係団体の連携(3地域)<br>・世界自然遺産地域振興モデル事業を実施した(北部3村) |
|                        | 2 沖縄島北部におけるノネコ捕獲数 30頭以上/<br>犬猫遺棄防止対策認知度(80%以上)  | 目標   | ・ノイズの捕獲・排除<br>・ノネコの捕獲・排除、ノネコ対策の検討<br>・犬猫遺棄防止等に係る普及啓発の実施            | ・ノイズの捕獲・排除<br>・ノネコの捕獲・排除<br>・犬猫遺棄防止等に係る普及啓発の実施                                  | ・ノイズ・ノネコの捕獲・排除、捕獲した猫の譲渡<br>・犬猫遺棄防止等に係る普及啓発の実施                    | 30頭以上/80%以上   |
|                        |   | 実績   | ・ノイズの捕獲・排除を実施した<br>・ノネコの捕獲・排除、ノネコ対策の検討を行った<br>・犬猫遺棄防止等に係る普及啓発を実施した | ・ノイズの捕獲・排除を実施した<br>・ノネコの捕獲・排除を実施した<br>・犬猫遺棄防止等に係る普及啓発を実施した                      | ・ノイズ・ノネコの捕獲・排除、捕獲した猫の譲渡を実施した<br>・犬猫遺棄防止等に係る普及啓発を実施した             | 18頭/82%   |
|                        | 3 森林内のパトロールの実施(180回)  | 目標   | —  | —   | —  | 180回  |
|                        |   | 実績   | —  | —   | —  | 180回  |
|                        | 4 (1)西表島観光管理計画の改定(1回)<br>(2)地域部会の運営(各2回)  | 目標   | 地域部会の運営、行動計画の検証及び見直し   | 地域部会の運営(2地域)、行動計画の検証及び見直しを実施(2地域)   | ・地域部会の運営(2地域)、行動計画の検証及び見直しを実施(2地域)<br>・西表地域部会における観光管理作業部会の設置     | (1)1回<br>(2)各2回   |
|                        |   | 実績   | 地域部会の運営及び行動計画の検証・見直しを実施した  | 地域部会の運営(2地域)及び行動計画の検証・見直しを実施した(2地域)   | ・地域部会の運営(2地域)及び行動計画の検証・見直しを実施した(2地域)<br>・西表地域部会における観光管理作業部会を設置した | (1)1回<br>(2)各2回   |
|                        | 5 アンダーパス等設置検討会の開催(2回)   | 目標   | —  | —   | —  | 2回  |
|                        |   | 実績   | —  | —   | —  | 2回  |
|                        | 6 フィールド観察会の開催(4回以上)   | 目標   | ・普及啓発の実施<br>・地域住民や地元企業と連携した機運醸成に取り組む                               | ・普及啓発の実施<br>・地域住民や地元企業と連携した機運醸成に取り組む  | ・普及啓発の実施<br>・地域住民や地元企業と連携した機運醸成に取り組む                             | 4回  |
|                        |   | 実績   | ・普及啓発を実施した<br>・地域住民や地元企業と連携した機運醸成に取り組んだ                            | ・普及啓発を実施した<br>・地域住民や地元企業と連携した機運醸成に取り組んだ   | ・普及啓発を実施した<br>・地域住民や地元企業と連携した機運醸成に取り組んだ                          | 2回  |
| 進捗状況説明                 | <p>1 周辺地域における計画誘導に向けた地元関係団体の連携や世界自然遺産地域振興モデル事業実施した。(北部3村)</p> <p>2 やんばる地域においてノイズ・ノネコの捕獲・排除を実施するとともに、ノイズ・ノネコ発生源対策として犬猫遺棄防止のための普及啓発を実施した。</p> <p>3 森林内パトロールを180回、県警との合同パトロール6回実施するとともに、夜間道路適正利用の検討を行った。</p> <p>4-(1) 各地域部会を開催し(沖縄島北部2回、西表島2回)、地域の関係団体等と協議しながら、地域別行動計画に係る事業進捗の確認を行うとともに、地域別行動計画の検証及び見直しを行った。</p> <p>4-(2) 西表島観光管理計画改定のための作業部会を2回開催し、令和4年3月に「西表島観光管理計画」を策定した。</p> <p>5 アンダーパスの設置を含め、イリオモテヤマネコの交通事故対策を検討するため、有識者検討委員会を2回開催した。</p> <p>6 登録地域の小中学生を対象としたフィールド観察会「自然体験学習ツアー」及び図画コンクールを実施したほか、優秀図画作品を活用した航空機のラッピング広告、遺産に関わる様々な主体によるトークセッション等による普及啓発を行った。</p> |      |  |   |  |   |

| R4成果目標(指標)   |  | 基準値    | R2年度  | R3年度  | R4年度      | 目標値    |
|--|--|--------|---|---|-----------|--------|
|  |  | (〇〇年度) |   |   |           | (〇〇年度) |
| 1 遺産コアエリア(与那覇岳、伊部岳)への入域者(登山者数)の急激な増加の抑制:3,000人以下     | 目標   | —      | —   | —   | 3,000人以下  | —      |
|  | 実績   | —      | —   | —   | 2,450人    | —      |
| 2 ヤンバルクイナの推定生息範囲10%増(220メッシュ以上)                      | 目標   | —      | —   | —   | 220メッシュ以上 | —      |
|  | 実績   | —      | —   | —   | 221メッシュ   | —      |
| 3 密猟・盗採防の痕跡となるワナの数 25件以下/年                           | 目標   | —      | 25件以下   | 25件以下   | 25件以下     | —      |
|  | 実績   | —      | 7件  | 7件  | 1件        | —      |
| 4-(1)西表島の年間入域観光客数33万人以内                              | 目標   | —      | —   | —   | 33万人/年    | —      |
|  | 実績   | —      | —   | —   | 23万人/年    | —      |
| 4-(2)IUCNからの勧告事項や指摘事項等に対応するための地域別の行動計画の検証・見直し完了(各1回) | 目標   | —      | 各1回   | 各1回   | 各1回       | —      |
|  | 実績   | —      | 各1回   | 各1回   | 各1回       | —      |
| 5 対策箇所の決定(西部地区候補地8箇所)(R4)                            | 目標   | —      | —   | —   | 対策箇所の決定   | —      |
|  | 実績   | —      | —   | —   | 検討        | —      |
| 6 遺産地域内小中学校への環境教育実施率70%以上                            | 目標   | —      | やんばる及び西表が世界自然遺産登録地であることの認知度50%以上<br>西表島が世界自然遺産に登録されたことが望ましいと考える地域住民の割合34%以上 | やんばる及び西表が世界自然遺産登録地であることの認知度50%以上<br>西表島が世界自然遺産に登録されたことが望ましいと考える地域住民の割合34%以上 | 実施率70%    | —      |
|  | 実績   | —      | やんばる及び西表が世界自然遺産登録地であることの認知度68%<br>西表島が世界自然遺産に登録されたことが望ましいと考える地域住民の割合 45%    | やんばる及び西表が世界自然遺産登録地であることの認知度84.9%<br>西表島が世界自然遺産に登録されたことが望ましいと考える地域住民の割合 未実施  | 実施率46%    | —      |
| 達成状況説明   | <p>1 遺産コアエリアへの入域者数の急激な増加を抑制するため、周辺地域への計画的誘導を実施した。入域者数は2,450人であり目標を達成した。</p> <p>2 やんばる地域において、ノイヌ2頭、ノネコ18頭を捕獲・排除するとともに、ノネコについては、捕獲した個体すべてを返還若しくは譲渡を行った。また、犬猫遺棄防止対策の認知度は82%となった。ヤンバルクイナの推定生息範囲については220メッシュであり、目標を達成した。</p> <p>3 森林内パトロール中での密猟・盗採の痕跡及びトラップ設置の確認件数は1件であり、目標を達成した。</p> <p>4-(1) 令和2年、令和3年に比するとコロナ禍の影響もやわらぎ入域観光客数も増加している状況であるが、令和4年の西表島の入域観光客数は約23万人であり、目標を達成した。</p> <p>4-(2) 沖縄島北部及び西表島の各地域部会等を通じて関係者間での協議を踏まえ、地域別行動計画の検証・見直しを各1回完了し、目標を達成した。</p> <p>5 アンダーパス等対策箇所の決定については、交通実態調査や住民説明会、関係機関との調整を踏まえ、引き続き検討を行う必要がある。</p> <p>6 遺産地域内の小中学生を対象にした環境学習の参加率は46%となった。(R元年度55%→R2年度55%→R3年度32%)</p> |        |   |   |           |        |

R4-No.29

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)   | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)  |
|-------|---|---|
|       | <p>・世界自然遺産に登録後も、その登録基準を満たし、恒久的に保護・保全を図る必要があるため、継続して、自然環境の保全等を推進する取り組みを行っていく必要がある。</p> <p>・世界自然遺産登録後も持続的に自然環境を保全するためには、引き続き国や地元関係団体等と連携し取り組む必要がある。</p> <p>・令和3年7月の遺産登録の際の4つの要請事項に対して、令和4年12月に保全状況報告書をユネスコ世界遺産センターへ提出した。</p> <p>・アフターコロナの入域観光客数の戻りを見据え、令和4年度に策定した「西表島観光管理計画」に基づき、適切な観光管理に向けた取組を実施する必要がある。</p> | <p>・IUCNの勧告への対応や、遺産価値の保全と適正な利活用を図っていくために、引き続き以下の課題に取り組む必要がある。</p> <p>①沖縄島北部における周辺管理地域への計画的誘導及び地域振興について、地元関係者と連携した取組の実施。</p> <p>②やんばる地域における野生化した犬・猫による希少野生動物捕食被害の防止。</p> <p>③沖縄島北部における希少野生動物の交通事故対策、密猟対策。</p> <p>④西表島におけるオーバーツーリズム対策、地域社会との協働による遺産地域の管理体制の運営。</p> <p>⑤国内希少種イリオモテヤマネコのロードキルの防止。</p> <p>⑥県内外へ世界自然遺産の価値の理解を深めるための継続的な普及啓発の実施。</p> |

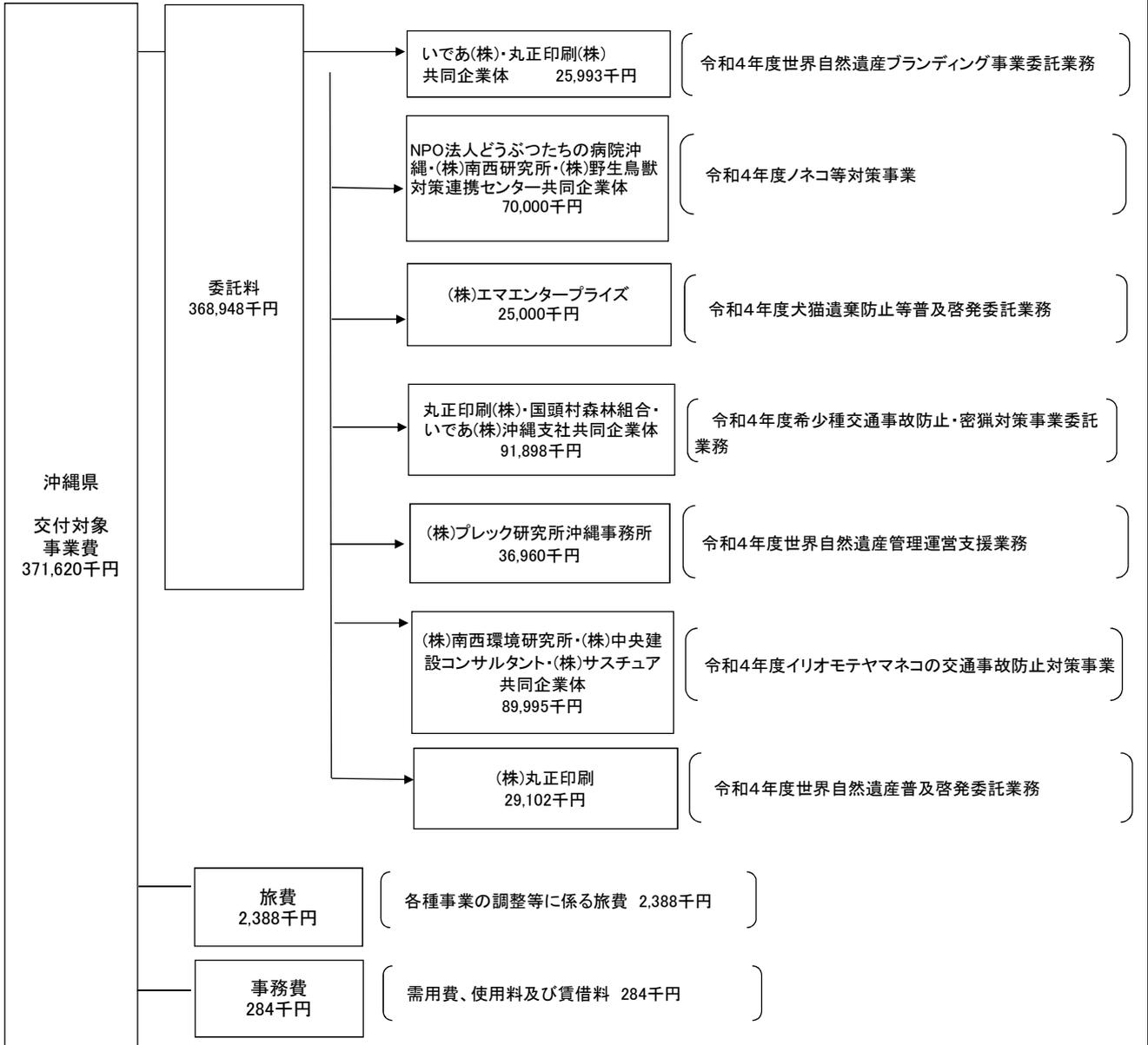
今後の取り組み方針

- ・IUCNの勧告への対応や、遺産価値の保全と適正な利活用を図っていくために、引き続き以下の課題に取り組む必要がある。
- ①沖縄島北部における周辺管理地域への計画的誘導及び地域振興について、地元関係者と連携した取組の実施。
- ②やんばる地域における野生化した犬・猫による希少野生動物捕食被害の防止。
- ③沖縄島北部における希少野生生物の交通事故対策として、効果的な除草手法の検証、モニタリングを実施する。林道通行止め実証実験等の実施による更なる密猟・盗採対策の強化。
- ④西表島における更なるオーバーツーリズム対策として、エシカル観光カレンダーの策定・運用や観光事業者との連絡会議を実施する。地域社会との協働による遺産地域の管理体制の運営として、引き続き地域部会において地域関係者と合意形成を図りながら遺産地域の管理運営を行う。
- ⑤国内希少種イリオモテヤマメコノロードキルの防止。
- ⑥県内外へ世界自然遺産の価値の理解を深めるための継続的な普及啓発の実施。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費    | 交付対象事業費 | うち交付金充当額 | うち県負担金 | うち市町村負担金 | その他 | 交付対象外経費 |
|---------|---------|----------|--------|----------|-----|---------|
| 371,620 | 371,620 | 297,296  | 74,324 | 0        | 0   | 0       |



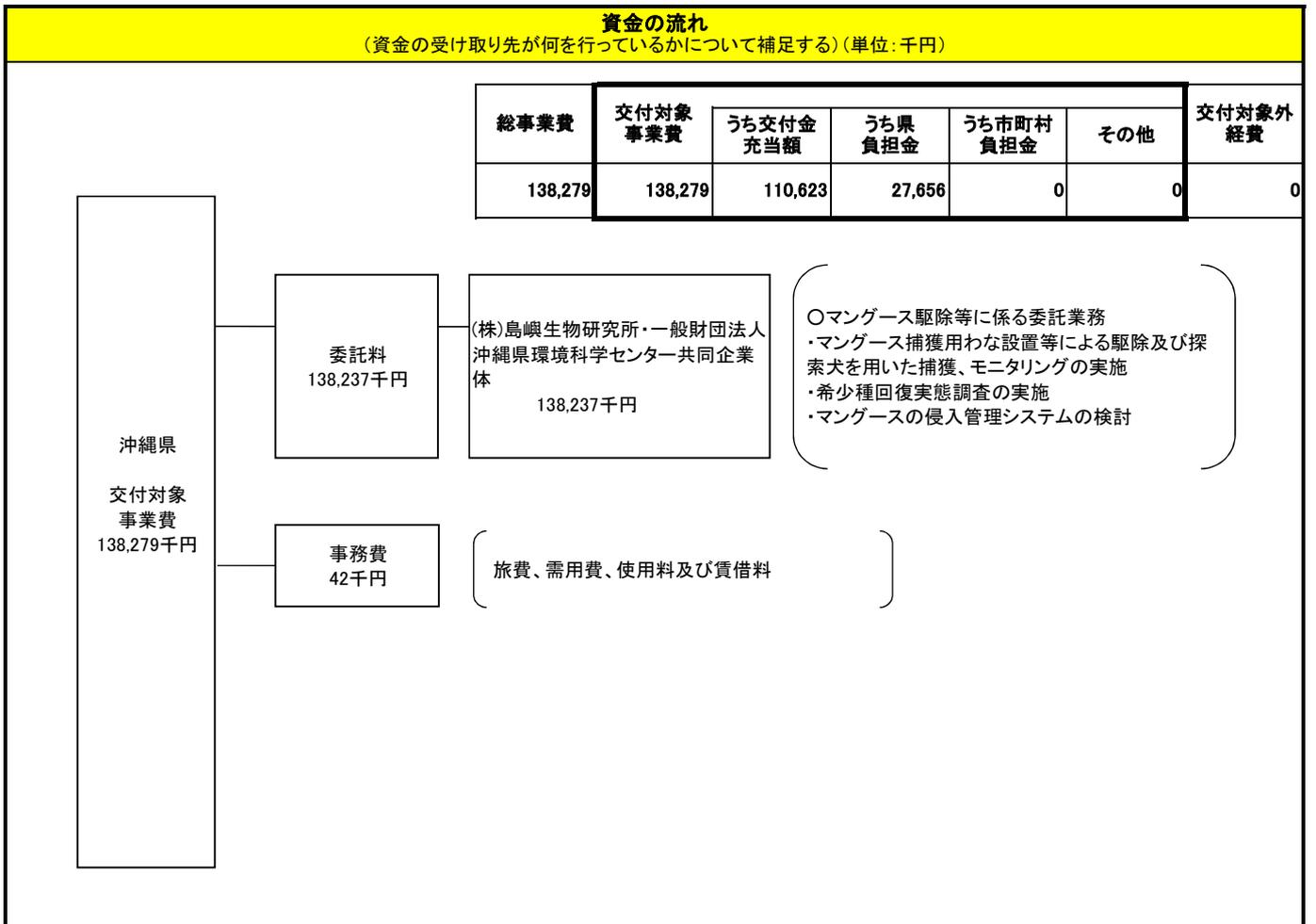
| 評価 | 点検項目                           | 評価に関する説明   |
|----|--------------------------------|--|
| ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○委託業務は、公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定されており、妥当であったと考える。 |
| ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    |  |
| -  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              | ○費目・使途については事業目的達成の観点から、額の確定時において証拠書類により確定しており、適切であった。      |
| ○  | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 |  |

資金の流れ、費目・点検評価

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

|                |   |   |                         |                         |                               |                    |           |
|----------------|---|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------------|--------------------|-----------|
| 事業番号・事業名       | 30  | マングース対策事業   | 新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所     | 第4章-1-(2)-ア-②           |                               |                    |           |
| 担当部署名          | 環境部自然保護課  | 事業実施(予定)年度  | H24 ~ R13 年度            | 沖縄振興基本方針該当箇所            | 希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進 |                    |           |
| 事業内容           | ①マングース捕獲、排除・技術開発<br>②希少種生息状況調査<br>③北上防止柵のモニタリング、柵以南からの侵入防止対策<br>④データの集計・解析等<br>⑤検討委員会の設置・運営   |   |                         |                         |                               |                    |           |
| 効果発現年度         | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)  |   |                         |                         |                               |                    |           |
| 実施方法           | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    ) |   |                         |                         |                               |                    |           |
| 予算額・執行額【単位:千円】 |   | R2年度  | R2年度(繰越)                | R3年度                    | R3年度(繰越)                      | R4年度               |           |
|                | 予算の状況   | (a)当初予算額  | 86,555                  | —                       | 86,640                        | —                  | 138,569   |
|                |   | (b)予算現額   | 86,555                  | —                       | 97,288                        | —                  | 138,569   |
|                |   | (c)増減額(b-a)   | 0                       | —                       | 10,648                        | —                  | 0         |
|                |   | (d)前年度繰越額   | —                       | —                       | —                             | —                  | —         |
|                |   | A. 計(b+d)   | 86,555                  | —                       | 97,288                        | —                  | 138,569   |
|                | B. 執行済額   |   | 86,345                  | —                       | 97,074                        | —                  | 138,279   |
|                | うち交付金充当額  |   | 69,076                  | —                       | 77,659                        | —                  | 110,623   |
|                | C. 次年度繰越額   |   | —                       | —                       | 0                             | —                  | 0         |
|                | 執行率(%) (B/A)  |   | 99.8%                   | —                       | 99.8%                         | —                  | 99.8%     |
| 予算の状況の説明       |   | ・沖縄島北部地域でのマングースを駆除・排除するための経費として、委託料及び事務的経費(旅費、需用費、使用料及び賃借料)を計上した。<br>・執行率は99.8%であり、概ね計画的に執行できた。 |                         |                         |                               |                    |           |
| 活動目標(指標)及び進捗状況 | R4活動目標(指標)  |   | 進捗状況                    |                         |                               |                    |           |
|                |   |   | R1年度                    | R2年度                    | R3年度                          | R4年度               |           |
|                | 北上防止柵以南での捕獲作業の実施  | 目標  | 北上防止柵以南での捕獲作業の実施        | 北上防止柵以南での捕獲作業の実施        | 北上防止柵以南での捕獲作業の実施              | 北上防止柵以南での捕獲作業の実施   |           |
|                |   | 実績  | 北上防止柵以南での捕獲作業を実施した      | 北上防止柵以南での捕獲作業を実施した      | 北上防止柵以南での捕獲作業を実施した            | 北上防止柵以南での捕獲作業を実施した |           |
| 希少種回復実態調査      | 目標  | 希少種回復状況調査(STライン以北)の実施   | 希少種回復状況調査(STライン以北)の実施   | 希少種回復状況調査(STライン以北)の実施   | 希少種回復状況調査(STライン以北)の実施         |                    |           |
|                | 実績  | 希少種回復状況調査(STライン以北)を実施した   | 希少種回復状況調査(STライン以北)を実施した | 希少種回復状況調査(STライン以北)を実施した | 希少種回復状況調査(STライン以北)を実施した       |                    |           |
| 進捗状況説明         | ・マングース捕獲作業対象地域における捕獲作業にて、374個体を捕獲した。<br>・希少種回復状況調査を実施して、やんばる地域における希少種の生息状況を確認した。  |   |                         |                         |                               |                    |           |
| 成果目標(指標)及び達成状況 | R4成果目標(指標)  |   | 基準値(〇〇年度)               | R2年度                    | R3年度                          | R4年度               | 目標値(〇〇年度) |
|                | 沖縄県北部地域におけるヤンバルクイナの推定生息範囲 220メッシュ以上   | 目標  | —                       | 200                     | 200                           | 220                | —         |
|                |   | 実績  | —                       | 217                     | 203                           | 221                | —         |
| 達成状況説明         | ・沖縄県北部地域におけるヤンバルクイナの推定生息範囲は220メッシュとなり、目標値を達成した。<br>・沖縄島北部地域では、依然としてマングースが捕獲されることから、第一北上防止柵以北へのマングースの侵入を防ぐため、第一北上防止柵以南において捕獲を継続する必要がある。                          |   |                         |                         |                               |                    |           |

| 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) |  | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)  |  |
|-------------------------|--|---|--|
| 取組の検証                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンゲース捕獲強化によりマンゲースの生息密度は低減してきているが、いまだ残存している、わなに容易に誘引されない個体(トラップシャイ)の排除が課題となっている。</li> <li>・第三北上防止柵周辺の捕獲強化を行っているが、使用するわなが断続的に効果を発揮できる仕組みが課題となっている。</li> <li>・北上防止柵が設置できていない箇所(抜け箇所)において、マンゲースの痕跡が確認されており、このような抜け箇所からのマンゲースの再侵入が懸念される。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のわなに容易に誘引されない残存個体対策として、探索犬や化学的防除による排除方法を引き続き検証する必要がある。</li> <li>・わなに使用する餌の誘因期間の検証、1つのわなで複数個体に効果が発揮できる仕組みを検討する必要がある。</li> <li>・第一北上防止柵以南のマンゲース個体数の低減を図るとともに、第一北上防止柵以北への再侵入を防ぐ必要がある。</li> </ul> |  |
|                         | 今後の取り組み方針  |   |  |
|                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一北上防止柵以南のマンゲース個体数の低減を図るとともに、第一北上防止柵以北への再侵入を防ぐため、第二北上防止柵と第三北上防止柵の間の範囲を中心として、わな数を増やし集中的に捕獲を実施する。</li> <li>・より効果的な新規わなの開発及び試行、探索犬の活用や化学的防除法の検討、AIカメラの活用等などにより、効率的な捕獲及びモニタリングを実施する。</li> </ul>  |   |  |



| 資金の流<br>れ、費<br>目<br>点<br>検<br>評<br>価 | 評価 | 点検項目                           | 評価に関する説明   |
|--------------------------------------|----|--------------------------------|--|
|                                      | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○委託先は、一般競争入札により決定した。<br><br>○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要性等について、額の確定時に証拠書類により確認しており、適正である。 |
|                                      | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    |  |
|                                      | -  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              |  |
|                                      | ○  | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 |  |

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

|                |   |   |                                   |                                    |                                   |                                   |         |
|----------------|---|---|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------|
| 事業番号・事業名       | 31 外来種対策事業  | 新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所   | 第4章-1-(2)-ア-②                     |                                    |                                   |                                   |         |
| 担当部課名          | 環境部自然保護課  | 事業実施(予定)年度  | H27 ~ R13 年度                      |                                    | 新沖縄振興基本方針該当箇所                     | 希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進     |         |
| 事業内容           | ・沖縄県の生態系を保全するため、重点対策種(グリーンアノール、タイワンスジオ、台湾ハブ、インドクジャク、ニホンイタチ等)の捕獲等を実施する。<br>・沖縄県の生態系を保全するため、重点予防種(ヒアリ等)の侵入・定着防止を図る。<br>・台湾ハブやタイワンスジオ等の外来ヘビのやんばる地域への北上を防止するため、名護市源河から東村有銘にかけて防蛇柵を設置する。 |   |                                   |                                    |                                   |                                   |         |
| 効果発現年度         | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)  |   |                                   |                                    |                                   |                                   |         |
| 実施方法           | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )                     |   |                                   |                                    |                                   |                                   |         |
| 予算額・執行額【単位:千円】 |   | R2年度  | R2年度(繰越)                          | R3年度                               | R3年度(繰越)                          | R4年度                              |         |
|                | 予算の状況   | (a)当初予算額  | 87,448                            | —                                  | 104,120                           | —                                 | 455,102 |
|                |   | (b)予算現額   | 89,557                            | —                                  | 120,653                           | —                                 | 463,177 |
|                |   | (c)増減額(b-a)   | 2,109                             | —                                  | 16,533                            | —                                 | 8,075   |
|                |   | (d)前年度繰越額   | —                                 | —                                  | —                                 | —                                 | —       |
|                |   | A. 計(b+d)   | 89,557                            | —                                  | 120,653                           | —                                 | 463,177 |
|                | B. 執行済額   |   | 89,213                            | —                                  | 120,367                           | —                                 | 438,829 |
|                | うち交付金充当額  |   | 71,370                            | —                                  | 96,294                            | —                                 | 351,063 |
|                | C. 次年度繰越額   |   |                                   | —                                  | 0                                 | —                                 | 0       |
|                | 執行率(%) (B/A)  |   | 99.6%                             | —                                  | 99.8%                             | —                                 | 94.7%   |
| 予算の状況の説明       |   | ・予算額は、主に外来種対策行動計画の推進、グリーンアノール、タイワンスジオ、台湾ハブ、インドクジャク、ニホンイタチ等の駆除とヒアリ等のモニタリングに係る委託費及び外来ヘビ等北上防止柵改良工事の工事請負費となっている。<br>・執行率は94.7%であり、主に工事請負費の執行残が発生したことによるものである。 |                                   |                                    |                                   |                                   |         |
| 活動目標(指標)及び進捗状況 | R4活動目標(指標)  |   | 進捗状況                              |                                    |                                   |                                   |         |
|                | ・重点対策種(グリーンアノール、タイワンスジオ、台湾ハブ、インドクジャク、ニホンイタチ等)の捕獲等の実施  | 目標  | 肉食系外来種の生息範囲調査及び捕獲手法検討             | 肉食系外来種の駆除の実施                       | 重点対策種の駆除の実施                       | 重点対策種の駆除の実施                       |         |
|                |   | 実績  | 肉食系外来種の生息範囲調査及び捕獲手法を検討した          | 肉食系外来種の駆除の実施                       | 重点対策種の駆除の実施                       | 重点対策種の駆除の実施                       |         |
|                | 重点予防種(ヒアリ等)等のモニタリング等の実施   | 目標  | ・ヒアリの監視技術・防除技術の検討<br>・港湾関係者への研修   | ・ヒアリの監視技術・防除技術の検討<br>・港湾空港関係者等への研修 | ・重点予防種のモニタリングを実施<br>・港湾空港関係者等への研修 | ・重点予防種のモニタリングを実施<br>・港湾空港関係者等への研修 |         |
|                |   | 実績  | ・ヒアリの監視技術・防除技術の検討実施<br>・港湾関係者への研修 | ・ヒアリの監視技術・防除技術の検討<br>・港湾空港関係者等への研修 | ・重点予防種のモニタリングを実施<br>・港湾空港関係者等への研修 | ・重点予防種のモニタリングを実施<br>・港湾空港関係者等への研修 |         |
| 進捗状況説明         | ・グリーンアノール、タイワンスジオ、台湾ハブ、インドクジャク、ニホンイタチといった重点対策種の駆除を行った。<br>・重点予防種(ヒアリ等)のモニタリングを行った。侵入リスクのある空港や港湾関係者、保健所職員等を対象にしたヒアリに係る研修を那覇市、石垣市、宮古島市で各1回実施した。                                       |   |                                   |                                    |                                   |                                   |         |

| 成果目標<br>(指標)<br>及び達成状況 | R4成果目標(指標)  |    | 基準値<br>(〇〇年度) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 目標値<br>(〇〇年度) |
|------------------------|---|----|---------------|------|------|------|---------------|
|                        |   |    | 目標            | 実績   | 目標   | 実績   | 目標            |
|                        | 沖縄島北部地域でのグリーンアノール定着件数   | 目標 | —             | 0件   | 0件   | 0件   | —             |
|                        |   | 実績 | —             | 0件   | 0件   | 0件   | —             |
|                        | やんばる地域(国頭村、大宜味村、東村)でのタイワンスジオ定着件数  | 目標 | —             | 0件   | 0件   | 0件   | —             |
|                        |   | 実績 | —             | 0件   | 0件   | 0件   | —             |
|                        | タイワンハブの名護市以北からやんばる地域への拡散防止  | 目標 | —             | —    | 0件   | 0件   | —             |
|                        |   | 実績 | —             | —    | 0件   | 0件   | —             |
|                        | 西表島でのインドクジャク定着件数  | 目標 | —             | 0件   | 0件   | 0件   | —             |
|                        |   | 実績 | —             | 0件   | 0件   | 0件   | —             |
|                        | 来間島及び大神島でのニホンイタチ定着件数  | 目標 | —             | —    | —    | 0件   | —             |
|                        |   | 実績 | —             | —    | —    | 0件   | —             |
|                        | 外来種対策を実施している市町村数  | 目標 | —             | 9以上  | 9以上  | 9以上  | —             |
|                        |   | 実績 | —             | 10   | 14   | 22   | —             |
|                        | ヒアリの定着件数  | 目標 | —             | 0件   | 0件   | 0件   | —             |
|                        |   | 実績 | —             | 0件   | 0件   | 0件   | —             |
| 達成<br>状況<br>説明         | <ul style="list-style-type: none"> <li>重点対策種4種(タイワンスジオ、グリーンアノール、インドクジャク、ニホンイタチ)の駆除を行うことで、沖縄島北部地域、西表島、来間島及び大神島における定着件数0件を達成した。</li> <li>タイワンハブの防除を行うことで、名護市以北からやんばる地域への拡散防止を果たした。</li> <li>ヒアリについて、県内主要港湾周辺等においてモニタリング調査を行い、侵入及び定着が確認されなかったことから、目標を達成した。</li> <li>県内で外来種対策を実施した市町村数は22あり、目標を達成した。</li> </ul> |    |               |      |      |      |               |

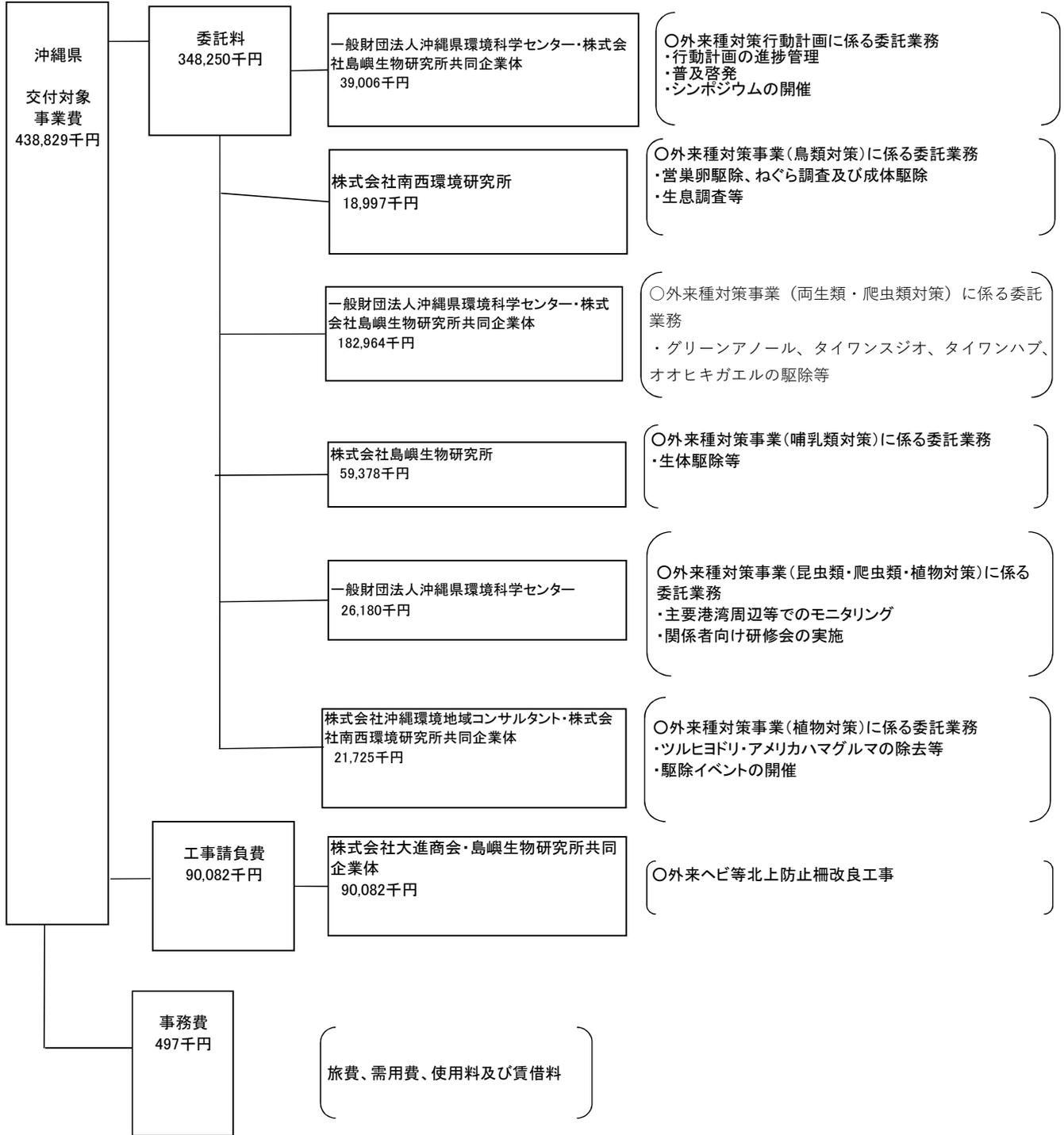
R4-No.31

| 取組の<br>検証  | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)  | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)  |
|--|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>定着している外来種は、放置すると生息数及び範囲を拡大させる。</li> <li>未定着の外来種は、常に物流等による侵入、定着のリスクがある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄県外来種対策行動計画において定めた重点対策種(生態系への影響が大きく重点的に駆除等を行う必要がある種)の種毎の防除目標達成を目指して、同計画に基づく取組を推進する必要がある。</li> </ul> |
| <b>今後の取り組み方針</b>   |  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>有識者の意見等も踏まえ、重点対策種の捕獲等を実施する。</li> <li>より効率的な捕獲やモニタリング手法について、随時検討し、有効性が認められれば採用する。</li> </ul> |  |   |

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費    | 交付対象事業費 | うち交付金充当額 | うち県負担金 | うち市町村負担金 | その他 | 交付対象外経費 |
|---------|---------|----------|--------|----------|-----|---------|
| 438,829 | 438,829 | 351,063  | 87,766 | 0        | 0   | 0       |



| 資金の<br>用途の<br>流れ、<br>費目、<br>点検<br>評価 | 評価 | 点検項目                           | 評価に関する説明   |
|--------------------------------------|----|--------------------------------|--|
|                                      | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○委託事業受託者は、その特殊性を考慮して公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案したうえで選定し、随意契約をしている。  |
|                                      | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    | ○工事請負業者は、一般競争入札により受託業者を選定している。                                       |
|                                      | -  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              | ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等、額の確定時において支出等に関する書類により確認したところ適正であった。 |
|                                      | ○  | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 |  |

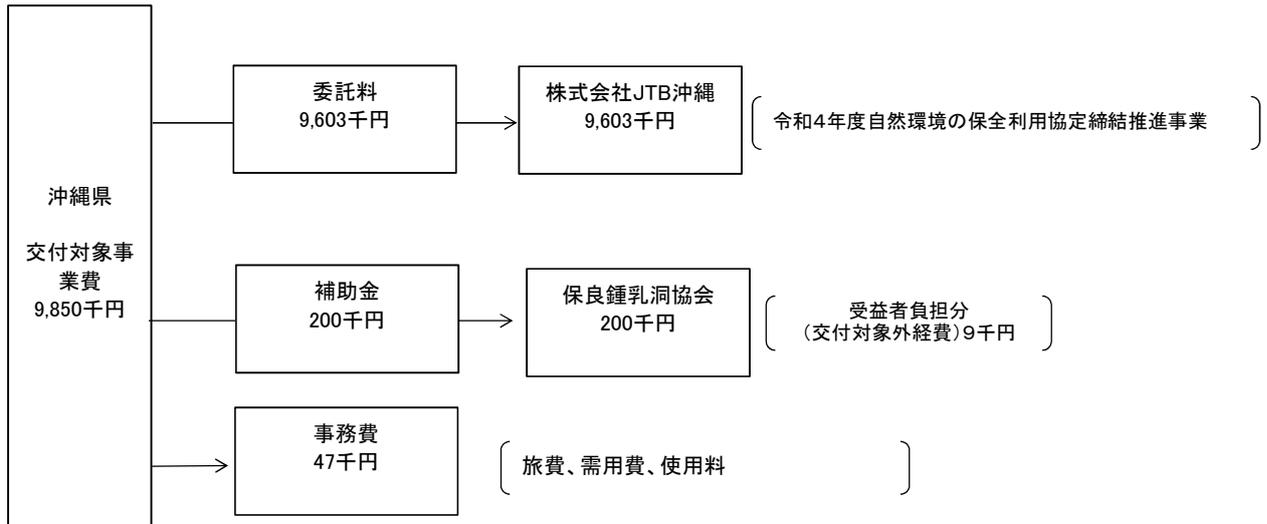
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

|                        |   |   |                         |                  |                |      |               |
|------------------------|---|---|-------------------------|------------------|----------------|------|---------------|
| 事業番号・事業名               | 28  | 自然環境の保全利用協定締結推進事業   | 新沖縄21世紀ビジョン<br>基本計画該当箇所 | 第4章-1-(2)-ウ-②    |                |      |               |
|                        |   |   |                         | 環境保全の意欲の醸成       |                |      |               |
| 担当部署名                  | 環境部自然保護課  | 事業実施(予定)年度  | R1 ~ R13 年度             | 沖縄振興基本方針<br>該当箇所 | Ⅲ-10-(1)       |      |               |
| 事業内容                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>協定締結に対する事務的、財政的支援</li> <li>協定締結地域間の交流や情報交換、情報共有</li> <li>協定締結候補地と既に協定を締結している地域との交流</li> <li>利用協定候補地への勉強会の開催等</li> </ul>                |   |                         |                  |                |      |               |
| 効果発現年度                 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)  |   |                         |                  |                |      |               |
| 実施方法                   | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )               |   |                         |                  |                |      |               |
| 予算額・執行額<br>【単位:千円】     |   | R2年度  | R2年度(繰越)                | R3年度             | R3年度(繰越)       | R4年度 |               |
|                        | 予算<br>の<br>状<br>況   | (a)当初予算額  | 7,785                   | —                | 7,647          | —    | 10,056        |
|                        |   | (b)予算現額   | 7,785                   | —                | 7,647          | —    | 10,056        |
|                        |   | (c)増減額(b-a)   | 0                       | —                | 0              | —    | 0             |
|                        |   | (d)前年度繰越額   | —                       | —                | —              | —    | —             |
|                        |   | A. 計(b+d)   | 7,785                   | —                | 7,647          | —    | 10,056        |
|                        | B. 執行済額   |   | 7,428                   | —                | 7,422          | —    | 9,850         |
|                        | うち交付金充当額  |   | 5,942                   | —                | 5,938          | —    | 7,880         |
|                        | C. 次年度繰越額   |   | 0                       | —                | 0              | —    | 0             |
|                        | 執行率(%) (B/A)  |   | 95.4%                   | —                | 97.1%          | —    | 98.0%         |
| 予算の状況の説明               |   | ・沖縄の自然環境の保全と適正利用を図るため、自然環境の保全利用協定の新規締結を促進する取組等に要する経費として、委託料、補助金及び事務的経費(旅費、需用費、使用料及び賃借料)を計上した。<br>・執行率は98%であり、概ね計画的に執行できた。 |                         |                  |                |      |               |
| 活動目標<br>(指標)<br>及び進捗状況 | R4活動目標(指標)  |   | 進捗状況                    |                  |                |      |               |
|                        |   |   | R1年度                    | R2年度             | R3年度           | R4年度 |               |
|                        | ・保全利用協定の具体的な締結支援  | 目標  | —                       | ヒアリング・勉強会        | ヒアリング・勉強会の開催   | 1件   |               |
|                        |   | 実績  | —                       | ヒアリング・勉強会を実施した   | ヒアリング・勉強会を実施した | 5件   |               |
|                        | ・協定制度の見直し等検討会の開催  | 目標  | —                       | ヒアリング・勉強会        | ヒアリング・勉強会の開催   | 1回   |               |
|                        |   | 実績  | —                       | ヒアリング・勉強会を実施した   | ヒアリング・勉強会を実施した | 1回   |               |
|                        | ・保全利用協定への財政的支援件数  | 目標  | —                       | —                | —              | 1件   |               |
|                        |   | 実績  | —                       | —                | —              | 1件   |               |
|                        | ・協定締結候補地との勉強会参加者数   | 目標  | —                       | —                | —              | 50人  |               |
|                        |   | 実績  | —                       | —                | —              | 58人  |               |
| 進捗状況説明                 | ・新規協定締結を促進するため、事業者ヒアリングを5地域で実施するとともに、協定制度の見直し等の検討会を行った。また、財政的支援として、1地区に対し、補助金を1件交付した。さらに事業者向け勉強会(6地区・計20名参加)を実施するとともに、締結地域等を含めた座談会(13名参加)、フィールドワーク(7名参加)、トークセッション(18名参加)を行った。 |   |                         |                  |                |      |               |
| 成果目標<br>(指標)<br>及び達成状況 | R4成果目標(指標)  |   | 基準値<br>(〇〇年度)           | R2年度             | R3年度           | R4年度 | 目標値<br>(〇〇年度) |
|                        | 保全利用協定の締結数  | 目標  | —                       | 1件               | 1件             | 1件   | —             |
|                        |   | 実績  | —                       | 1件               | 2件             | 1件   | —             |
|                        | 達成状況説明  | ・事業者ヒアリングや勉強会を実施し、令和4年度は目標達成した。   |                         |                  |                |      |               |

| 取組の検証   | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)  | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)  |
|---|--|---|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・やんばる地域や西表島が世界自然遺産登録の勧告を受けたことや、新型コロナウイルスの社会に対する影響が落ち着くと考えられることから、本県への観光客の急激な増加に備え、自然環境保全のための取組を、全県的に推進していく必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未締結地域にも、協定の仕組みについて認知度を向上させ、理解を促す必要がある。</li> <li>・協定の締結によるメリットの創出を図っていく必要がある。</li> </ul> |
| 今後の取り組み方針   |  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・協定事業者や有識者など関係者からの意見を収集する。</li> <li>・新規締結の支援や協定締結のメリットの創出を図るとともに、協定事業者や未締結地域の事業者がより活用しやすい仕組みづくりに取り組む。</li> </ul> |  |   |

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費  | 交付対象事業費 | うち交付金充当額 | うち県負担金 | うち市町村負担金 | その他 | 交付対象外経費 |
|-------|---------|----------|--------|----------|-----|---------|
| 9,859 | 9,850   | 7,880    | 1,970  | 0        | 0   | 9       |



| 資金の用途の点検・費目・評価 | 評価 | 点検項目                           | 評価に関する説明   |
|----------------|----|--------------------------------|--|
|                | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○委託業務は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定されており、妥当であったと考える。</li> <li>○補助金交付要綱に基づいた補助率により補助金を交付しており、妥当であったと考える。</li> <li>○費目・用途については事業目的達成の観点から、額の確定にあたり証拠書類を確認しており、適切であった。</li> </ul> |
|                | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    |  |
|                | ○  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              |  |
|                | ○  | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 |  |